



山梨県知事
長崎 幸太郎

ごあいさつ

第21回やまなし県民文化祭が、関係者の皆様の御支援と御協力のもと、多くの県民の皆様に御参加いただき、成功裏に終了いたしました。

運営に携わっていただきました実行委員の皆様をはじめ、関係各位の御尽力に心から感謝申し上げます。また、御参加いただきました多くの県民の皆様に厚くお礼申し上げます。

やまなし県民文化祭は、文化芸術活動を行う皆様が成果を発表する機会であるとともに、県民の皆様がジャンルを超えた質の高い文化芸術に触れることができる機会でもあります。

本年度も、洋舞や邦楽など様々な部門のアーティストによる躍動感に満ちた創作舞台をはじめ、県内作家による美術や書道、華道などの瑞々しく創造性溢れる作品展示、さらには美しい音色で聞く人を魅了する演奏や、先人たちが創り出し、発展させ、継承してきた伝統芸能の公演など、年間を通して様々な文化の灯火が美しく輝いていました。

芸術や文化の活動は、私たちの心に潤いと豊かさをもたらすばかりでなく、交流や賑わいを創出し、地域の活性化につながるものであり、長期化するコロナ禍において、その重要性が再認識されたところでもあります。

このため県では、ここ山梨で生まれ、育まれてきた文化芸術がさらに発展的に創造・継承されていくために、創作活動や鑑賞活動の主体となる県民の皆様の御参加をいただきながら、今後も様々な施策を展開して参りたいと考えております。

結びに、やまなし県民文化祭が、県民の皆様の優れた文化芸術の鑑賞、発表の機会の場として、ますます発展していくことを御期待申し上げますとともに、文化芸術活動に携わる県民の皆様の御健勝と御活躍を心よりお祈り申し上げ、あいさつといたします。



ごあいさつ

第21回やまなし県民文化祭が、多くの県民の皆様のご協力のもと、盛大に開催できましたことに、心より感謝申し上げます。

本年度の県民文化祭は、部門別フェスティバル・総合フェスティバル・協賛事業を県内各地で開催しました。

部門別フェスティバルには、舞台発表や作品展示に関わる18部門が参加しました。それぞれの部門が創意工夫を凝らし、会場を訪れた皆様に、多彩な発表をご覧いただきました。また、舞台発表や作品展示に加え、体験型事業も行われました。多くの方が文化芸術に実際に触れ、楽しむ機会が創出されたことで、文化の裾野拡大につながっていると考えます。

総合フェスティバルでは、複数の部門が協力し、ジャンルを超えた総合的な文化芸術の発表を行いました。展示部門では、美術・書道・華道・写真・フラワーデザイン・ハンドクラフトの6部門により、異なるジャンルの洗練された作品が、一つの会場に展示されました。その様子は、「やまなし・美の競演」というテーマを体現しており、ご来場の方からも好評を博しました。舞台部門は、コロナウイルス感染症の拡大による度重なる中止を経て、4年ぶりの開催となりました。本年度は、「やまなしの文化を思う」をテーマに、演劇・邦楽・吟剣詩舞・朗読・太鼓の5部門が出演する舞台が制作されました。参加部門それぞれの特徴を活かしながら、多くの皆様にお楽しみいただけるよう演出等にも工夫を重ね、舞台での発表が実現しました。

協賛事業についても、県内各地で盛況に実施されました。コロナ禍で制限されてきた文化芸術活動が再開され、県民の皆様のご参画のもと、幅広く展開されていることを、大変嬉しく思います。

今後も、県民文化祭が、多くの皆様に文化芸術の素晴らしさを伝えていく一助となることを願っています。また、山梨の文化芸術の県内外への発信や、次代の文化芸術の担い手の育成等、山梨県の文化芸術の発展に貢献できるよう、これからも取り組んで参ります。

結びに、関係者の皆さまのご尽力に改めて敬意を表しますとともに、今後も山梨県の文化芸術の振興のため一層のお力添えをお願いし、挨拶といたします。



やまなし県民文化祭
実行委員会会長
野口 英一

① 総合フェスティバル

展示 部門

事業名	第21回やまなし県民文化祭総合フェスティバル展示部門
開催日	令和5年1月18日(水)10時～令和5年1月22日(日)16時まで
場所	山梨県立図書館イベントスペース
入場者数	1007名
参加者数	出品者数:90名 作品点数:90点

本年度は、山梨県立図書館イベントスペースにて、美術・書道・写真・華道・フラワーデザイン・ハンドクラフトの展示6部門の代表者による展示が開催され、それぞれの部門の洗練された力作が会場を彩りました。多様な作品を楽しんで鑑賞することが出来たと、ご来場の方からもご好評を頂きました。



舞台部門



フィナーレ (全員)

事業名	第21回やまなし県民文化祭総合フェスティバル舞台部門 「やまなしの文化を思う」
開催日	令和5年3月5日(日)13時30分開場、14時開演
場所	YCC県民文化ホール 大ホール
入場者数	333名
参加者数	出演者数: 97名 観覧者数: 333名

総合フェスティバルの舞台公演は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、今年度が4年ぶりの開催となりました。「やまなしの文化を思う」をテーマに、5部門がそれぞれの特長を生かしながら、4つの演目に分かれて公演いたしました。

演劇部門と邦楽部門は、広島県女に入学した少女たちの最後の夏の軌跡を表現した「あの夏の少女たち」

邦楽部門は、客席から虚無僧の姿で登場し虚無僧の歴史を解説しながらリズム感あふれる曲を演奏した「虚無僧に想いを馳せて」

吟剣詩舞部門と朗読部門は、山梨の風土に関する5曲を吟詠及び剣詩舞により表現した「甲斐の国を詠う」

太鼓部門は、山梨で生まれた「和太鼓天野流」の複数の曲を一つの作品として総勢30名で演奏した「打楽-DAGAKU-」

各部門がその魅力を存分に発揮し、互いに高め合い、総合フェスティバルとして結実した舞台は、来場した多くの皆様に感動を与えました。フィナーレでは、太鼓の演奏の中で出演者や専門委員が舞台上に集まり、会場全体が大きな拍手で包まれました。



「甲斐の国を詠う」(吟剣詩舞部門・朗読部門)



「打楽-DAGAKU-」(太鼓部門)



「虚無僧に想いを馳せて」(邦楽部門)



「あの夏の少女たち」(演劇部門)

② 部門別フェスティバル

美術展・書道展・写真展より



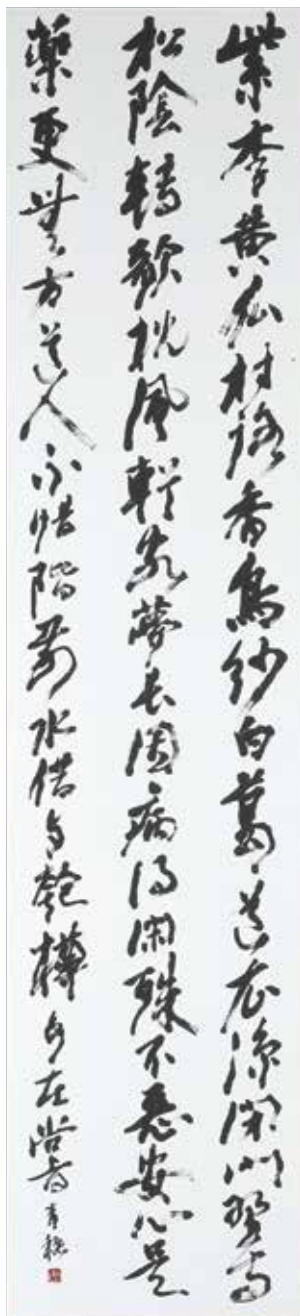
県民文化祭賞 堀内 ありさ「不屈」(油彩)



県民文化祭賞
長塚 響平「カラクリネコシアター」(モノクロ写真の部)



準県民文化祭賞 小林 由征「なんだ!？」(小中高生の部)



県民文化祭賞
大島 青穂「蘇東坡詩」(漢字)



準県民文化祭賞
大橋 翔「元稹詩」(漢字)

美術部門

事業名	第21回やまなし県民文化祭美術展
開催日	令和4年11月15日(火)～令和4年11月20日(日) 9時～17時(最終日は16時まで)
場所	山梨県立美術館県民ギャラリーA・B・C室
入場者数	1283名
参加者数	出展者数:177名 応募者数:122名 作品点数:177点

平成13年から県民総参加による「くらし文化が根付くやまなし」の実現をめざし開催されている。美術部門も今回で21回目を迎えた。美術部門の活動については、作品種別を多く設けた。ここ数年、若い層の出品者も増えており、県下最大の美術展として定着しており経験豊かな世代と高校生、大学生が自分のレベルをはかる場となっている。

今回もコロナウイルス感染症蔓延禍の中で、感染予防に努めながらの開催であったが、多くの応募があり、熱のこもった作品が集まり見応えのある展覧会になった。特に各ジャンル全てに応募があり、工芸部門の出品数は例年の2倍であった。全部門、次回への作品応募を期待している。若い世代の公募展離れが進んでいると感じているが、専門委員会としては、今回同様に10代の大賞者が引き続き出てくることを期待したい。これからも展覧会の充実と作品の質の向上を目指し、専門委員全員で誇れる作品展にしていきたい。



書道部門

事業名	第21回やまなし県民文化祭書道展
開催日	令和4年11月5日(土)～令和4年11月11日(金) 9時～17時(7日(月)は休館日、最終日は15時まで)
場所	山梨県立美術館県民ギャラリーA・B・C室
入場者数	919名
参加者数	応募者数:273名 作品点数:332点

令和4年11月4日、中央書壇より日展会員井上清雅先生を山梨県立美術館にお招きし、第21回やまなし県民文化祭書道展の審査が行われた。

依然として続くコロナ禍の中にあっても、書道を愛好する熱き思いを込めた今回展の応募点数は漢字・一字書・調和体・かな・篆刻・刻字に273点、内入賞者26点が選出。委嘱出品59点と合わせ、県民ギャラリーA・B・Cを使用し332点の展鑑となった。

審査総評として「全体的にレベルが高く、書を追求する山梨の人たちの熱気溢れる作品が多く、様々な視点から審査が楽しめた。」第一席のやまなし県民文化祭賞の大島青穂さんの書は「作品の背景に明代末の書家倪元璐の書風が感じられる。少々荒いところもあるが墨の使い方が大胆で素晴らしい。ここに至るまで良く鍛錬されたと思う。女人好みの目を引く格調高い作品である。」と。

コロナ禍のため、好評を得ていたギャラリートークは中止。委嘱作家を展覧したギャラリーCは作家それぞれの個性と表現がせめぎ合う見応え十分な空間であった。



写真部門

事業名	第21回やまなし県民文化祭写真展
開催日	令和4年10月27日(木)～11月3日(木・祝) 9時～17時 (31日は休館日、初日は13時～最終日は15時まで)
場所	山梨県立美術館県民ギャラリーA・B室
入場者数	921名
参加者数	応募者数:160名 応募点数:605点

第21回やまなし県民文化祭写真部門の作品募集は、8月31日締切にて行い、本年度も新型コロナウイルス感染拡大の中で、感染防止に留意しながらの事業でありましたが、作品数では昨年より57点多い605点の応募があり、応募者数も160名と概ね昨年並みでありました。内訳では一般が3名減少の処、高校生の応募が前年を15名上回る状況でありました。

本年度の作品審査は、清里フォトアートミュージアムの副館長の写真家・瀬戸正人氏を審査員に迎え、9月14日(水)に厳正なる審査会を実施し、やまなし県民文化祭賞には長塚響平さん(甲斐市)の「カラクリネコシアター」(モノクロ単写真)が選ばれました。巧みな光の使い方により印象的に仕上げられた秀作でした。

県立美術館での展示につきましては、昨年度よりギャラリーAには一般入賞者・入選者の作品を、ギャラリーBには小中高生の入賞者・参加者の作品を展示しましたが、観覧に訪れた皆さんから、小中高生の作品が素晴らしいとお褒めの言葉を戴きました。



応募点数	モノクロ写真の部 …… 80点	出品者数 …… 160名
	カラー写真の部 …… 143点	入場者数 …… 921名
	ネイチャー写真の部 …… 151点	
	小中高生の部 …… 231点	
	合計605点	

ハンドクラフト部門

事業名	第21回やまなし県民文化祭ハンドクラフト展
開催日	令和4年10月28日(金)～11月3日(木・祝) 9時～17時 (31日(月)は休館日、最終日は15時まで)
場所	山梨県立美術館県民ギャラリーC室
入場者数	1098名
参加者数	応募作品数:69点 出展作品点数:79点(専門委員10名の作品10点を含む)

人の手で作られるあたたかみと作り手の技と創意工夫が感じられる作品展として、山梨県立美術館においてハンドクラフト展が開催されました。ハンドクラフト部門の専門委員会による「能面、からくり、銀クラフト、粘土工芸、ガラス工芸、藤工芸、草工芸、アメリカンフラワー、押し花絵」に加え、山梨県内からの一般公募による「切り絵、仏像、人形、パッチワーク、卵殻モザイク」他の手工芸作品の魅力をいきいきと伝える場となりました。性別、年齢を問わず多様な分野で多彩な活躍をされている手工芸作家の皆様の丹精込められた作品が一堂に展示されることで、コミュニティが生まれ、手工芸が発展する機縁となっています。手工芸の作品は日々の暮らしに溶け込み、手作りならではのぬくもりを感じながら、長い間受け継がれてきた技術や歴史が込められた作品もあります。手作り作品づくりの楽しさを次の世代に伝えられるように、これからも普及活動に努めて参ります。



華道部門

事業名	第21回やまなし県民文化祭 華道展
開催日	令和4年10月13日(木)～10月18日(火)午前10時～午後6時30分 前期:令和4年10月13日(木)～10月15日(土)〈15日は午後3時終了〉 後期:令和4年10月16日(日)～10月18日(火)〈18日は午後3時終了〉
場所	山梨県防災新館 オープンスクエア全面
入場者数	808名
参加者数	出瓶流派:16流派 出瓶者数:80名 作品点数:80点

今年度もwithコロナで十分な対策をとり準備にかりました。生け花は、会場での活け込みと撤花の時間が必要になります。となり合わせの花席の作業時間に差をつけた表の基、お互いが規律を守り、時間内での仕上げに協力いたしました。

会場のレイアウトも昨年とはまた趣向をかえてみました。来場者のアンケートのご意見でも良い評価をいただきました。①明るい会場作りで雰囲気良かった。②すっきりした配置で見やすかった。作品についても、①それぞれの個性、感性の表現力が素敵だった。②初めてダイナミックな生け花を見た。③県内の素晴らしい流派の作品を見て感動した。等々感想をいただき、これからの活力になります。せっかくの華道展、広く新聞・TVの告知が足りなかったこと、これからの反省点といたします。



フラワーデザイン部門

事業名	第21回やまなし県民文化祭フラワーデザイン部門展示会 ～花笑・はなえみ～
開催日	11月26日(土)～27日(日) 10時～18時
場所	甲府市総合市民会館2F・遊亀公民館展示室
入場者数	410名
参加者数	出展者:32名 出品点数:50点(合作も含む)

やまなし県民文化祭フラワーデザイン部門展はwithコロナの現状、嬉しくはありませんが、その対応にも慣れてきました。

数年間の儘ならぬ生活の中で、花や木々は人を癒し、懸命に生きる姿を無言で伝え、生活空間に花木がある意義を改めて感じた歳月でした。今回のタイトルを～花笑・はなえみ～としました。

従来からの作品展とともに、新企画として会場内に 思いを花に…ご来場の皆様にお花を挿していただき、思いがこもった合作・300本以上の花が大きな4つのアレンジとなり会場を彩りました。BGM ～被爆のピアノ～が奏でる心地良いメロディは心に伝わりました。最終日16時からは花のプレゼント、全ての花を再びお部屋で楽しんで頂くのは、企画時の思い以上に好評で、お洒落な花袋に入れた花達を手にした方々の笑みは最高でした。

ワークショップも併催した多彩なフラワーデザイン展は無事に幕を下ろしました。



文学部門

事業名	文学部門
開催日	表彰式 令和5年2月26日
場所	山梨県立美術館講堂
参加者数	応募者数:164名 応募作品数:176作品

第21回やまなし県民文化祭文学部門の作品募集は、公募要領配布の上、小説・児童文学・エッセイ・詩・短歌・俳句・川柳の7種目で164名の方々から176作品が寄せられました。全体では、前回より2割ほど減少しています。しかし、俳句、川柳、短歌、詩など短詩形の方はほとんど応募数が減少していませんでした。やはりコロナの影響は大きかったと思われます。

体験型事業では、本年度は詩部門で開催され、詩人、和合亮一氏をお招きして公演と討論会を開催し、非常に好評でありました。次年度は、エッセイの促進事業を展開する予定で計画を練っています。大勢の方の参加を期待しております。



茶道部門

事業名	第21回やまなし県民文化祭茶道部門 大茶会
開催日	令和4年10月9日(日) 午前10時～午後3時
場所	甲府市勤労者福祉サービスセンター
参加者数	1000名

やまなし県民文化祭大茶会は、コロナの為2年間休会で、久方ぶりで開催されました。例年のピュアセンターが使用できず、急遽甲府市勤労者福祉サービスセンターで開催いたしました。会場は、1階2席、2階3席で階段使用が気になりましたが入場者は平素の半分の千名でしたので、それほど混雑もなく、なごやかな雰囲気の中で進みました。参加流派は裏千家、表千家、江戸千家、大日本茶道学会、煎茶道の5流派が趣向を凝らした風情のある茶席を展開し大変な好評を頂戴いたしました。

また、会場が交通上わかりにくい場所でしたが、県のご担当者のご配慮により県の方が6名も参加していただき、交通の案内をしていただき、心より感謝致しております。ありがとうございます。かくして文化性の高い秋の一日は有意義に終了することが出来ました。



音楽部門

事業名	第21回やまなし県民文化祭 音楽祭
開催日・開催場所	9月18日(日) 12:30 開場、13:00 開演 YCC県民文化ホール・小ホール
参加者数	プレオーディション(ピアノのみ) 8月7日(日) 南アルプス市カナリアホール オーディション 8月21日(日) YCC県民文化ホール・小ホール 応募者総数 37名 ・プレオーディション 参加者数(ピアノのみ):29名 ・オーディション 参加者数:26名(プレ合格者18名を含む) ・音楽祭 第1部出演者数:16名 第2部出演者数:1名
入場者数	約350名

3年ぶりの開催となりました。2年続いて中止していたこともあり、参加者は少なかったものの参加された皆さんの演奏水準は例年以上に高く、充実した音楽祭になりました。

今までの音楽祭はコンクール形式でした。しかし以前より音楽専門委員の話し合いにおいて「楽器や声種、年齢や経験など大きく異なる出演者の演奏に、優劣をつけるのは如何なものか」との議論がありました。そこで今回は芸術祭賞などの表彰をやめて、オーディション合格者によるコンサート形式にしました。賛否両論あるとは思いますが、音楽祭の出演者を増やすことができました。

第2部の特別演奏では、ソプラノの守木詩織さんに出演していただきました。文字通り聴衆を圧倒する素晴らしい演奏でした。今後も山梨県にクラシック音楽文化を拡めるためにも、より多くの皆さんに参加していただきたいと考えています。



合唱部門

事業名	第21回やまなし県民文化祭合唱フェスティバル2022
開催日	令和4年8月27日(土)・28日(日)
場所	東京エレクトロン韮崎文化ホール
入場者数	168名 ※感染拡大防止のため出演者以外の入場制限より
参加者数	出演団体数:13団体 出演者数:168名

合唱部門は今年度もコロナ禍における開催に、大変な労力を要することになった。一昨年度は中止、昨年度は多くの合唱団が申し込みをされたが、当日は3団体のみでの演奏だった。今年度も16団体の申し込みがあったが、8月に入ると日に日に感染が広がり通常開催が叶うのか、不安が大きくなった。しかし今年度は練習の工夫や細心の感染対策を講じて、13団体がステージで演奏してくださった。ご家族などを前に演奏していただくことはできなかったが、素晴らしい響きのホールに各合唱団の歌声が響く時間は尊いものであった。講師からは各団体に温かい講評をいただき、終わりの見えない感染症の広がりの中でも、歌うことの喜びを感じ、励まされる時間となったことと思う。

来年こそは、通常開催ができるよう祈る。歌い、互いに聴きあい、運営に携わり他団体とも交流を深める等、合唱を通じて様々な人との繋がりを感ずることのできる場としたい。



邦楽部門

事業名	第21回やまなし県民文化祭邦楽部門 公演会
開催日	令和4年10月2日(日) 11時～17時まで
場所	YCC県民文化ホール・小ホール
入場者数	450名
参加者数	出演団体数:24団体(尺八曲4、長唄3) 出演者数:151名

日本でありながら、日本の“伝統”音楽に日常的にふれる機会はなく
なっている。このとき、江戸時代から伝承されてきた「邦楽」を今世代で
絶やすことはできない。学校の音楽教育では全く教えていないし、また、
無理かもしれない。そこで、日本の伝統音楽を伝承し、次世代につなげ
るため、広く県民に参加者を募り“邦楽”の公演会を催した。

渡辺京二著「逝きし世の面影」の指摘するように、すでに失われた古
き良き文明社会の面影を、「温故知新」で蘇生させ、後世に伝承する必
要があるのではなからうか。

公演会は、尺八古典本曲にはじまり、山田流・生田流の箏曲、古曲8
曲、新曲5曲最近作曲された曲5曲、長唄3曲等、多種多彩であった。観
客の皆様にも大変楽しんでいただき、最後まで長時間のご清聴に感謝
したい。出演者も、日ごろの精進の成果を発表でき、次回に向けて、さら
なる勉強に励み、邦楽の発展と伝承に尽力していきたい。



民謡民舞部門

事業名	第21回やまなし県民文化祭 民謡民舞フェスティバル
開催日	令和4年10月10日(月・祝) 12時30分～
場所	YCC県民文化ホール
入場者数	200名
参加者数	出演団体数:12団体 出演者数:約170名

本年度、第二十一回やまなし県民文化祭民謡民舞フェスティバルが無事開
催出来たこと、関係者の皆様に心より御礼申し上げます。
毎年会員数が少なくなるなか、本年度は新たな加入団体も増え組織全体への
活力となったと確信しております。

フェスティバルの内容としては、コロナ禍で見送ってきた演奏団体と舞踊団体
での共演が復活できたことは大変喜ばしいことです。
是非とも来年度は民謡民舞フェスティバルの名物である「甲州よっちゃばれ踊
り」を全団体で行えるよう安全対策を検討し、積古重ねていく所存です。

また、フェスティバル第三部で行なった「未来に羽ばたく子供たち」では、例年
より多くの参加者、演目で開催ができ伝統芸能を後世に残していく活動として大
変、期待の出来る内容となりました。

今後も我々の活動が未来に伝わっていくよう会員一同、精進して参ります。

第21回民謡民舞フェスティバル

- 第1部 全国の唄と踊り
 - 第2部 山梨県の唄と踊り
 - 第3部 未来に羽ばたく子供たち
 - 第4部 めでためめでたや祝い唄
- 全27曲



太鼓部門

事業名	第21回やまなし県民文化祭 太鼓部門公演会
開催日	令和4年11月3日(木・祝) 12時30分～16時まで
場所	YCC県民文化ホール・小ホール
入場者数	472名
参加者数	出演団体数:8団体 出演者数:190名

第21回やまなし県民文化祭太鼓部門公演は、令和4年11月3日(木・祝)県民文ホール・小ホールにて開催された。会場の改修工事のため例年より早い時期の開催となった。また、新型コロナウイルス感染症第7波も小康状態となったが、昨年に引き続き入場者を50名に限定して開催された。入場者への入場時の検温、チケットの半券に氏名、住所、連絡先を明記していただき万が一の感染拡大防止策も行った。出演者の控室も会場側の指示の定員数の範囲内で割り振り従来の控室では足りない分は練習室、会議室などを借り足し可能な限りの感染症対策を打って実施された。今回は参加団体も「高根ふるさと太鼓保存会」が加わり参加促進事業チームと山梨県立韮崎工業高校太鼓部を含めて八団体の出演があり、入場者数も四百七十二名となり県民の皆様日本の伝統文化である和太鼓に触れていただくことでその継承発展につなげるという目的をほぼ達成できた公演となった。



洋舞部門

事業名	ダンスフェスティバル2022
開催日	令和4年11月20日(日) 14時～16時まで
場所	東京エレクトロン韮崎文化ホール
入場者数	500名
参加者数	出演団体数:4団体 出演者数:約100名

コロナ禍ではありましたが、昨年に続き無事に開催することが出来ました。

今年度は県民文化ホールの改修工事と重なったため、文化祭としては初めて韮崎文化ホールでの開催となり、地方のホールとの交流が出来ました。

しかしながら、3年に渡るマスク生活、運動不足による体力の低下、何よりも感染予防に神経を使い、社会を取巻く様々な環境の変化が体と心、体力や感性に少なからず影響を及ぼし、舞台当日迄の体調管理だけでも大きな負担になっている様に感じました。

今回は花束等の受け渡しができず、色とりどりの花束を胸に抱く姿もありません。そんな中、来場者アンケートで殆どのお客様から“良かった・次回も観覧したい”と回答頂いた事は何よりの喜び、励ましとなりました。

時代の変化を受け入れながら、本当に大切な事を皆で考え、山梨の次代を生きる子どもたちの成長を願いながら進んでいきます。



吟剣詩舞部門

事業名	吟剣詩舞道大会
開催日	令和4年11月23日(水・祝) 12時～16時まで
場所	山梨県立文学館講堂
入場者数	120名
参加者数	出演団体数:24会派 出演者数:160名

吟剣詩舞部門では、県民の皆様へ「吟剣詩舞」に親しんでいただくと、コロナ禍でも練習を重ね、演目内容も工夫して発表に臨みました。オープニングでは、故郷への思いを込めた童謡吟「故郷」を吟と剣舞で披露。第一部・三部では、琴線に触れる朗詠や、「四季の歌」「弘法大師空海」「本能寺」など迫力ある構成吟を発表しました。

第二部の『次世代へつなぐ心の鼓動』は、第7回大会から継続の参加促進事業番組です。

今回初めて、大人とのコラボを実現。「学ぶ楽しみ」では、大人の吟での舞姿は新たな風景となりました。また「甲斐の誇り」では「武田節」を全員で発表し、武田信玄公を称え、若者への期待が募る番組となりました。

第四部の「ふるさとを想う」では、作者の故郷への思いを共有する一時となり、大会の最後を飾りました。今回、参加者アンケートから、「楽しい時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。」とお言葉を頂きました。このことを励みに、部門として伝統芸能の普及、及び若者への継承に努めたいと思います。



朗読部門

事業名	朗読フェスティバル
開催日	令和4年11月27日(日) 13時30分～16時まで
場所	山梨県立文学館 講堂
入場者数	156名
参加者数	出演者数:19名

本事業の実施にあたり、昨年同様に新型コロナウイルス感染拡大予防のため来場者数を制限し、予防対策を十分に取ることを心掛けました。従って、出演者はマスク着用での朗読となりました。運営については、昨年の経験を踏まえ概ねスムーズにできました。

本事業は、県下の朗読を楽しむ仲間が集まり、楽しい朗読の輪を広げることが趣旨に掲げています。幅広い年代の方々が同じステージに立ち日頃の成果を発揮できること、またそれぞれの年代ならではの表現があること、そして、それをご来場の皆様にお聴きいただけること。これは、同じ空間を共有する者にとって大変貴重な体験となります。

なにより、関係者の方々の協力によって実施できましたことに、深く感謝いたします。

今後も、1回1回のステージ作りを大切にしながら更に良いものを目指したいと思っています。



吹奏楽部門

事業名	第21回やまなし県民文化祭 第61回山梨県吹奏楽祭
開催日	峡南 令和5年2月5日(日) 峡北・中巨摩・南都留 令和5年2月12日(日) 北都留 令和5年3月19日(日)
場所	東京エレクトロン韮崎文化ホール(峡北) 桃源文化会館(中巨摩)身延町総合文化会館(峡南) ふじさんホール(南都留) 都の杜うぐいすホール(北都留)
入場者数	1000名
参加者数	出演団体(流派)数:60団体 出演(出展)者数:1200人

吹奏楽部門フェスティバルは、今年で61回目を数える山梨県吹奏楽祭を兼ねて開催している。以前は県全体1会場で実施していたが、現在では7会場に分かれて各地域で実施している(山梨県吹奏楽連盟の7つの支部がそれぞれ開催する形式)。小学校団体から一般団体まで参加しており、各団体の発表・交流の場として、また地域音楽文化への寄与の場として大きな役割を担っている。

本年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも60団体、約1200名の演奏者が集い、いずれの会場も大変な盛会となった。ソロアンサンブル・吹奏楽編成など様々な演奏形態で発表が行われ、選曲もクラシックからジャズ、ポップスまでと非常に幅広く、吹奏楽の魅力を十分に発揮する会となった。なお、甲府・峡東支部は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、急遽中止となった。



演劇部門

事業名	演劇部門 公演「八月の少女たち」
開催日	令和5年2月5日(日) 14時開演
場所	笛吹市スコレーセンターホール
入場者数	180名
参加者数	22名

人類の上に核爆弾が投下された78年前、あの地獄の苦しみを体験した人達はすでに高齢化が進み、被爆実相の語り部も少なくなってきましたが、現在もなお戦争のきな臭いにおい漂っています。戦争も平和も人間が作り出すものです。

物語に登場する少女たちは素直で明るく、家族思いの少女たちです。広島の名門校に入学した誇りを持ち、戦時下の中で一生懸命生き、その日まで8月6日8時15分まではみらいに向かっての希望と夢を膨らませていた13歳の少女たち…戦争を知らない世代の私たちは、今こそ『いのち』の尊さと平和の大切さを願い、物語に登場する少女たちに呼応して上演した演劇でした。



Ⅲ 体験型事業

朗読部門 (体験)

事業名	夏の朗読教室
開催日	令和4年8月6日(土) 10時～15時30分まで
場所	山梨県立図書館 1階イベントスペース東面
入場者数	31人
参加者数	指導者数:9名 参加者数:22名

本年度も、新型コロナ感染拡大予防のため参加人数を限定しての開催となりましたが、実施日前から感染者が急増したため、開催の有無については相当神経を使いました。

参加者は、幅広い年代に渡っています。それぞれが、選択したテキストをグループで学習した後、成果を発表します。

アンケートには、世代を越えた方々の発表を聴くことができ良かったなどの回答もありました。

また、この教室を通して朗読の楽しさを知って頂き、フェスティバルの舞台に立って下さる方も何人もいました。更に、来場者としての参加につなげることもできました。

課題としては、限られた学習時間の中での指導の工夫と指導者自身の更なるレベルアップを図ることです。



文学部門 (体験)

事業名	和合亮一 講演会
開催日	令和4年8月27日(土) 13時～15時
場所	山梨県立文学館 講堂
入場者数	73名

詩の磔・山梨篇

～ 東日本大震災から十一年、いま語り合いたいこと ～

講師: 和合亮一 司会ならびに対談 雨宮慶子

福島大震災から十一年の歳月を経て、私たちの世界認識や危機意識はどう変化をしたのか。また言葉の世界は直面するリアルをどう伝えていくのか。

福島の詩人和合亮一さんを招き、震災直後からツイッターで発し続けた「ことば」そしてそこから芽生えた「詩」について実作の朗読を交えながら熱く語っていただいた。

当日は、天候に恵まれて県外からも多くの方に来場いただき協賛の出版社や詩人会の応援を得て、新聞社のインタビューや掲載記事、更に雑誌への発展掲載などまさに「ことば」そして「詩」の不断のちからを実体験していく契機となった。

会の後半は、対談形式を採用して詩人の素顔に迫り、また「詩」を通しての新たなコミュニケーションの可能性や、今後の課題についても言及された。参加者の質疑応答では、熱心な質問が繰り返されたが時間枠に制限があり、第二、第三弾の開催を望む声が多く聞かれた。事前に配布された資料も充実をしていた。



太鼓部門 (体験)

事業名	太鼓ワークショップ
開催日	令和4年8月28日(日)、9月18日(日)、9月25日(日)、 10月16日(日)、10月23日(日)、各稽古 10時～15時まで 令和4年11月3日(木・祝) 本番、9時から16時まで
場所	天野宣音楽事務所1Fスタジオ 笛吹市スコーレセンター YCC県民文化ホール・小ホール
参加者数	指導者数:1名 参加者数:12名 出演者数:12名

第21回やまなし県民文化祭・太鼓部門体験型事業は、パンフレットにて公募した県民11名の参加を得ました。新型コロナウイルス感染症が終息しないなか天野宣音楽事務所一階スタジオと笛吹市スコーレセンターにて八月二十八日、九月十八日、二十五日、十月十六日、二十三日の五回の稽古を天野宣音楽事務所の師範代の山口琳平氏の指導の下行い、十一月三日に開催された太鼓部門公演にてYCC県民文化ホール・小ホールで稽古の成果を発表した。パチの持ち方や太鼓を叩く時の姿勢など基礎から指導を受け、曲を大舞台上で大観衆の前に演奏できたことで日本伝統文化の和太鼓に親しみを持ち文化の継承の担い手として育っていただけるものと期待されます。



華道部門 (体験)

事業名	いけばな体験教室
開催日	令和4年10月15日(土)・16日(日) 午前10時～午後2時
場所	山梨県防災新館1階県民ひろば
参加者数	指導者数16名 参加者数160名

昨年と同じ開放的な会場で行われました。インターネットでの申し込みが殺到するほどの人気があり、県の担当者は、当日受付と予約をうまく調整するのが、大変だったと思われます。小学生の親子連れが多く、とても楽しそうでした。アンケートのご意見①日常なかなか出来ない体験をすることができた。②初めての経験で活け方のアドバイスをうけ、花への見方が変わった。③貴重な体験をすることができた。等々、こうした体験を通し、華道への興味がわき、生け花を取り入れた生活が身近になることを願っております。



ハンドクラフト部門 (体験)

事業名	ハンドクラフト 押し花体験教室
開催日	令和4年10月22日(土) 13時30分～16時
場所	南アルプス若草生涯学習センター
参加者数	指導者5名 参加者数16名

「自然に触れて心ウキウキ、アイデア次第で楽しさ色々」をテーマにスタッフと準備を始めました。まず会場選び、参加人数、制作時間、押し花の準備などを話し合い、身近に咲く花など季節ごと押し花にして見本の額縁を作りました。関係者の協力を得ながら、チラシ作り、参加者募集をして、当日は検温・消毒をして入場してもらいました。会館フロアや会場後方に押し花額(大小)を展示して興味を持ってもらい、見本の額を見てイメージをふくらませながらワクワクして体験会に参加してもらいました。アイデア次第で楽しさ色々。自分だけの額を作りました。要となるガラスとの密封は、インストラクターの協力で素晴らしい額が出来上がりました。参加者からは好評な意見が寄せられ、とても充実した体験教室となりました。押し花の魅力を広げ、ハンドクラフトの発展と拡大を考え、協力していきたいと思えます。



写真部門 (体験)

事業名	写真家 瀬戸正人写真講座
開催日	令和4年10月30日(日) 13時30分～16時
場所	山梨県立美術館 講堂
参加者数	指導者:1名 参加者数:51名

本年度の写真講座は、審査をお願いした写真家・瀬戸正人氏を招いて、入賞作品展示期間中の10月30日(日)13時30分から、第一部やまなし県民文化祭入賞作品等の講評、第二部では「トラベリング旅しないカメラ」を演題に講演をいただき、参加者は熱心に聞き入っていました。会場は本来100名入場可能なのですが、本年も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、参加者を抽選により半分に絞った点が残念でなりません。



茶道部門 (体験)

事業名	茶道体験教室
開催日	令和4年11月19日(土)
場所	山梨県立文学館 素心菴
入場者数	50名

第21回やまなし県民文化祭の一環として、令和4年11月19日(土)茶道体験教室を芸術の森公園の素心菴にて開催いたしました。参加費は無料で1時間につき10名の皆様方に茶道の基本を体験していただきました。午前10時から午後4時まで5回にわたり50名の参加者に体験していただきました。お年寄りから子供までバラエティに富んだ参加者でした。内容は450年前、千利休が茶禪同一味を説いた茶道の入り口をお話しさせていただきました。実技に入り、正座、挨拶の仕方、立ち方、座り方、おじぎの仕方、菓子の取り方、戴き方、茶盆の持ち方、茶の飲み方、歩き方、茶の点て方、お茶の出し方等々を勉強しました。有意義な秋の一日を修了いたしました。指導者は、市川宗美・石戸谷宗美・鶴田宗慶の3名で担当させていただきました。



フラワーデザイン部門 (体験)

事業名	フラワーデザインワークショップ
開催日	令和4年11月26日(土)・27日(日) 14時～15時40分
場所	甲府市総合市民会館2F展示室
参加者数	参加者数:36名 指導者数:各回5名(2日間)

第21回やまなし県民文化祭フラワーデザイン部門展と併催で11月26日・27日にワークショップを開催、消毒・パーテーションの設置や資材の使い回しをしない等々、十分なコロナ対策や車いす対応をした上で行いました。

体験講習とは申せ、1時間半余しっかりポイントを丁寧に指導し各々の素敵な作品が完成、お部屋で長く楽しめます材料選びで「次もこの機会を待っています」との声もあり、今回も事前予約で満員となりました。「カッティングボードを使ったスワッグ風アレンジ」を作成、コロナ禍も忘れ、真剣に取り組む一時は大好評の内に終了しました。

毎年中高生にと内一回の企画をしていましたが、行事や課外学習の見直し等々で個人以外の学生参加が難しくなっている状況、逆に余暇を楽しむ方々や88才とおっしゃる高齢者迄ご参加は増すばかりで、社会貢献事業としての役割は果たせているのではと感じております。



部門別フェスティバル受賞者一覧

美術	書道	写真	文学
県民文化祭賞 堀内 ありさ (油彩)	県民文化祭賞 大島 青穂 (漢字)	県民文化祭賞 長塚 響平 (モノクロ写真の部)	県民文化祭賞 海野 美智子 (小説)
	準県民文化祭賞 大橋 翔 (漢字)	準県民文化祭賞 小林 由征 (小中高生の部)	準県民文化祭賞 中沢 雄高 (詩)
優秀賞 加山 総子 (彫刻) 石川 綾子 (日本画) 細田 啓 (水彩) 後藤 文夫 (油彩) 赤岡 由理 (工芸) 藤田 武男 (工芸) 山上 哲 (工芸) 原 よしみ (油彩) 山下 邦久 (複合) 中山 由季 (版画)	優秀賞 丸山 春美 (かな) 中島 康堂 (漢字) 森澤 津留 (調和体) 朝比奈 千沙 (漢字) 伊藤 雅一 (漢字) 宮川 翠香 (漢字) 渡邊 一徑 (一字書) 小澤 碧草 (漢字) 青木 紗蘭 (漢字)	優秀賞 高津 秀俊 (モノクロ写真の部) 板橋 かおる (モノクロ写真の部) 志村 茂雄 (カラー写真の部) 三宅 英樹 (カラー写真の部) 藤沢 久子 (カラー写真の部) 菊島 武 (ネイチャー写真の部) 櫻本 雅彦 (ネイチャー写真の部) 内藤 秀昭 (ネイチャー写真の部) 杉本 凜夏 (小中高生の部)	優秀賞 わたなべ まさゆき (小説) 沢島 一郎 (エッセイ) 田村 典子 (短歌) 依田 邦恵 (短歌) 五感 (短歌) 市之瀬 進 (短歌) 浅川 清 (短歌) 小澤 志保子 (短歌) 鈴木 文代 (俳句) 宿澤 尚子 (俳句) 渡邊 伊勢乃 (俳句) 小池 よし子 (俳句) 小泉 操 (俳句) 櫻井 すゑ子 (俳句)

協賛事業一覧

事業名	主催団体	日時	会場
第43回富士吉田梅若薪能公演	富士吉田市梅若薪能実行委員会	令和4年8月6日(土)17:30~20:00	北口本宮富士浅間神社 神楽殿
やまなしステージ・アート・プロジェクト2022 「山梨やるじゃん すっげえ舞台」	やまなしステージ・アート・プロジェクト 実行委員会、公益社団法人日本芸能 実演家団体協議会	令和4年7月24日(日)~令和5年1月15日(日)	県内各地(甲府市・山梨市・韮崎市・ 北杜市・南アルプス市・甲斐市・身延町)
若尾バレエ学園 Summer Ballet Concert	若尾バレエ学園	令和4年8月7日(日)13:30~17:00	YCC県民文化ホール 小ホール
「ムジカエテルナ甲府」第99回演奏会	ムジカエテルナ甲府	令和4年7月9日(土)16:30~18:00	山梨県立図書館多目的ホール
「ムジカエテルナ甲府」第100回演奏会	ムジカエテルナ甲府	令和4年11月19日(土)15:30~17:00	山梨県立図書館多目的ホール
第8回やまなしオカリナふれあいコンサート	山梨オカリナ連盟	令和4年6月25日(土)11:30~16:00	YCC県民文化ホール 小ホール
第43回山梨県高等学校芸術文化祭	山梨県高等学校芸術文化祭 実行委員会	令和4年7月6日(水)~12月4日(日) 13:00~16:00	県内各地
第7回日本画院と山梨の日本画展	一般社団法人日本画院 日本画院山梨支部	令和4年9月16日(金)~9月21日(水)9:00~15:00	山梨県立美術館県民ギャラリーA・B
第8回星光会書展	星光師範会	令和4年8月26日(金)~8月29日(月) 13:00~15:00	山梨県立図書館イベントスペース(西面)
第74回 山梨書道協会展 併催 教育書道展	山梨書道協会	令和4年12月20日(火)~12月25日(日) 14:00~16:00	山梨県立美術館県民ギャラリーA・B・C
富士三曲協会定期演奏会	富士三曲協会	令和4年10月30日(日) 11:00~16:00	大月市民会館大ホール
第33回清里フィールドバレエ	(株)B.シャブルウエスト/萌木の村	令和4年7月29日(金)~8月8日(月)19:00~20:30	萌木の村野外特別ステージ
山梨県シニアコーラス20周年記念大会	山梨県シニアコーラス連盟	令和4年11月23日(水) 13:00~16:00	都留市都の杜うぐいすホール大ホール
第44回 令和4年度山梨県短歌大会	山梨県文化協会連合会	令和4年11月25日(金)13:00~16:00	山梨県生涯学習推進センター交流室
第45回山梨県文化協会連合会・ 第21回山梨県川柳協会 川柳合同大会	山梨県文化協会連合会・ 山梨県川柳協会	令和4年9月3日(土)10:00~	甲府市総合市民会館大会議室
小笠原流礼法・小笠原流煎茶道・御献茶会	小笠原流礼法・小笠原流煎茶道	令和4年7月10日(日)13:30~17:00	宝珠寺本堂
ダイヤモンド富士観賞会	身延山ロープウェイ (身延登山鉄道株式会社)	令和4年9月30日(金)~10月2日(日)5:00~	身延山ロープウェイ山頂東側展望台
第19回富士・北麓東部地域フェスティバル 大正演奏発表会	富士・北麓東部地域フェスティバル 実施委員会南都留地区文化協会 連合会大正琴部	令和4年11月27日(日)13:00~16:00	きずな未来館1階大広間
池坊山梨県支部いけばな池坊展	華道家元池坊山梨県支部	令和4年10月29日(土)~10月30日(日) 10:00~17:00	山梨県防災新館1Fやまなしプラザ オープンスクエア
フルートトリオコンサート	フルートアンサンブルトロアコロポ	令和4年9月11日(日)14:00~16:00	キングスウェル・ホール
令和4年度(第10回)山梨県俳句大会	山梨県文化協会連合会・ 山梨県俳句大会実行委員会	【募 集】令和4年10月1日(土)~11月20日(日) 【表彰式】令和5年2月19日(日)	【表彰・選評】 山梨県生涯学習推進センター交流室A・B
フルートカルテットコンサート	ルチルカルテット	令和4年11月27日(日)14:00~16:00	キングスウェル・ホール
草月会山梨県支部展	草月会山梨県支部	令和4年11月19日(土)~11月20日(日) 10:00~16:00	山梨県立図書館1階イベントスペース
オルケスタ・フェニックス第16回定期演奏会	オルケスタ・フェニックス	令和5年3月19日(日)13:30~16:00	YCC県民文化ホール・大ホール
第16回みさとの秋まつり	みさとの秋まつり実行委員会	令和4年10月9日(日)12:00~15:00	大門碑林公園 ひらし源氏の館
第41回山梨墨画院展	山梨墨画院	令和5年2月22日(水)~2月28日(火)	山梨県立美術館県民ギャラリーA・B

資料

やまなし県民文化祭開催要綱

1 総 則

やまなし県民文化祭（以下「県民文化祭」という。）を開催し、運営するためにこの要綱を定める。

2 趣 旨

「くらしに文化が根づくやまなし」の実現をめざして、文化活動への参加と交流を促進し個性溢れる文化の創造のため、県民総参加の「県民文化祭」を開催する。

3 主 催

- ①山梨県・やまなし県民文化祭実行委員会
- ②運営に参画する開催地市町村

4 共 催

- ①山梨県芸術文化協会・山梨県文化協会連合会・山梨県高等学校文化連盟
- ②運営に参画する開催地市町村

5 事業内容

- ①総合フェスティバル
ジャンルを越えた総合的な文化芸術の発表と相互交流を促進し、新しい文化芸術の創造を図る事業を実施する。
- ②部門別フェスティバル
多様なジャンルの文化芸術活動者や団体に対し、発表の場を提供するとともに発表者と県民との交流を図る場とする。
- ③協賛事業
文化施設・市町村・団体・企業・学校等が行う各種文化芸術事業を協賛事業として募集する。

6 開催期間

年間を通じて実施する。

7 開催地

県内各地域とする。

やまなし県民文化祭協賛事業実施要項

1 趣 旨

やまなし県民文化祭実行委員会は、やまなし県民文化祭（以下「県民文化祭」という）開催期間中に、文化施設、市町村、団体、企業、学校等が行う文化芸術事業で、申請のあったもののうち、県民文化祭の趣旨に沿ったものを協賛事業とする。

2 協賛事業の条件

県民文化祭協賛事業の条件は、次のとおりとする。

- ① 県内で開催される各種文化芸術事業とする。
- ② 事業内容について
事業の内容が次の各号にあうものとする。
 - ア 事業の内容が県民文化祭の趣旨に沿うもの
 - イ 事業が一般の人に公開されるもの
 - ウ 政治的・宗教的目的を有しないもの
 - エ 営利を主たる目的としないもの
 - オ 事業の実施にあたっては、事故防止対策、公衆衛生対策等に十分な措置が講ぜられるもの

3 事業経費

事業経費は、主催者の負担とする。

4 申請について

主催者は、当該事業が実施される期日1ヶ月前までに、「やまなし県民文化祭協賛事業参加申込書」により申請すること。

5 決定について

協賛事業の決定については、やまなし県民文化祭実行委員会会長が、当該事業について「協賛事業の条件」に基づいて決定し、主催者に文書で通知する。

6 実施報告

主催者は、当該事業が終了した後、速やかに「やまなし県民文化祭協賛事業実施報告書」を提出すること。

第21回やまなし県民文化祭実行委員会委員

野口 英一	山梨県芸術文化協会会長	清水 正	山梨県市長会常務理事
宮澤 賢治	山梨県芸術文化協会副会長	樋口 高子	山梨県女性団体協議会副会長
渡辺 公男	山梨県芸術文化協会副会長	北村 幾三	(一社)山梨県老人クラブ連合会副会長
鶴田 一杏	山梨県文化協会連合会会長	村松 孝紀	山梨県PTA協議会PTA親子安全会・扶助会会長
西海 俊夫	山梨県文化協会連合会副会長	三井 雅博	(株)山梨日日新聞社編集局長
宮澤 千秋	山梨県文化協会連合会副会長	藤原 和昭	NHK甲府放送局副局長
加々美好	山梨県文化協会連合会副会長	塩澤 充正	(株)テレビ山梨報道制作局長
秋山 すみ江	山梨県高等学校文化連盟理事長	武井 功	(株)山梨放送報道制作局長
上小澤 始	(公財)やまなし文化学習協会専務理事	横内 勝	学識経験者
窪田 包久	山梨県公民館連絡協議会会長	降簾 友宏	山梨県教育委員会教育次長
小林 司	山梨県博物館協会代表	赤岡 重人	山梨県観光文化部部长
加藤 信一	山梨県公立文化施設協議会事務局長		

やまなし県民文化祭実行委員会規約

- (名称)
第1条 本会は、やまなし県民文化祭実行委員会(以下「実行委員会」という。)と称する。
- (目的)
第2条 実行委員会は、やまなし県民文化祭(以下「県民文化祭」という。)の企画・運営について協議し、県民文化祭の発展と充実を図ることを目的とする。
- (組織)
第3条 実行委員会は、山梨県芸術文化協会・山梨県文化協会連合会・山梨県高等学校文化連盟・(公財)やまなし文化学習協会・山梨県公民館連絡協議会・山梨県博物館協会・山梨県公立文化施設協議会・山梨県市長会・山梨県町村会・報道関係・学識経験者・一般県民・山梨県教育委員会・山梨県のうちから知事が委嘱する委員(以下「実行委員」という。)をもって構成する。
- (役員)
第4条 実行委員会に、次の役員を置く。
(1)会長1名
(2)副会長若干名
(3)監事2名
2 会長・副会長は、実行委員の互選とする。
3 監事は、会長が委嘱する。ただし、実行委員を兼ねることはできない。
- (役員の職務)
第5条 会長は、実行委員会を代表し、会務を統括する。
2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、会長があらかじめ定めた順序により、その職務を代理する。
3 監事は、会計その他の事務を監査する。
- (顧問及び参与)
第6条 実行委員会に顧問及び参与を置くことができる。
2 顧問及び参与は、会長が委嘱する。
3 顧問は、重要事項について会長の諮問に応じ、参与は、重要な会務に携わる。
- (任期)
第7条 役員、実行委員、顧問及び参与の任期は1年とし、後任者が決定されるまで在任する。但し、再任を妨げない。
- (構成)
第8条 実行委員会の会議は、会長、副会長及び実行委員をもって構成する。
- (招集)
第9条 会議は、会長が招集する。
- (議長)
第10条 会議の議長は、会長がこれにあたる。
- (議決事項)
第11条 会議は、次の事項を議決する。
(1)県民文化祭の開催及び総合的な運営に関する事項
(2)規約に関する事項
(3)事業計画及び事業報告に関する事項
(4)予算及び決算に関する事項
(5)その他重要な事項
- (議決)
第12条 会議の議決は、出席実行委員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは議長が決するところによる。
(会長の専決区分)
第13条 会長は緊急を要する事項について、専決処分をすることができる。
2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、これを次の会議において報告しなければならない。
(会議の公開)
第14条 会議は、公開とする。ただし、出席した実行委員の3分の2以上の多数で議決したときは、非公開とすることができる。
(会議録)
第15条 会長は、次に掲げる事項を記載した会議録を作成するものとする。
(1)会議の日時及び場所
(2)出席及び欠席した実行委員の氏名
(3)議決事項
(4)評決における賛否
(5)その他必要な事項
2 会議録には、会長及び出席した実行委員のうちから、会長が指名した2名の実行委員が署名するものとする。
- (運営委員会)
第16条 実行委員会は、開催要綱に示す事業を推進するため、運営委員会(以下「運営委員会」という。)を、置くものとする。
2 前各号に定めるもののほか、運営委員会に関し必要な事項は、会長が別に定める。
- (事務局)
第17条 実行委員会の事務を処理するため、甲府市丸の内1-6-1 山梨県観光文化部文化振興・文化財課内に事務局を置く。
2 事務局に関し、必要な事項は、会長が別に定める。
- (経費)
第18条 実行委員会の経費は、次に掲げるものをもって充てる。
(1)補助金
(2)その他の収入
(会計期間)
第19条 実行委員会の会計期間は、4月1日から3月31日までとする。
(委任)
第20条 この会則に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し、必要な事項は、会長が別に定める。
- 附 則
1 この規約は、平成12年11月1日から施行する。
2 平成12年度の実行委員の任期は、第7条1項の規定にかかわらず平成14年3月31日までとする。
3 この規約は、平成18年4月1日から施行する。
4 この規約は、平成22年5月11日から施行する。
5 この規約は、平成28年4月1日から施行する。
6 この規約は、令和2年4月1日から施行する。

第21回やまなし県民文化祭運営委員会委員

総合フェスティバル

委員長	大橋 洋之	書道専門委員長			
副委員長	成澤 千香子	洋舞専門委員長			
委員	宮澤 賢治	文学専門委員長	小石 晋	音楽専門委員長	
	鶴田 宗慶	茶道専門委員長	渡邊 玲子	合唱専門委員長	
			鈴木 逸明	邦楽専門委員	
	保坂 博司	美術専門委員長	河野 通方	演劇専門委員長	
	守屋 喜彦	写真専門委員長	福嶋 孝顕	民謡民舞専門委員長	
	稲葉 一溪	華道専門委員長	横森 美保	朗読専門委員長	
	奥山 幾代子	フラワーデザイン専門委員長	深澤 壽	太鼓専門委員長	
	進藤 恵	ハンドクラフト専門委員長	木之瀬 星謙	吟剣詩舞専門委員長	
			仲田 太年	吹奏楽専門委員長	

部門別フェスティバル

委員長	宮澤 賢治	文学専門委員長			
副委員長	渡邊 玲子	合唱専門委員長			
委員	鶴田 宗慶	茶道専門委員長	小石 晋	音楽専門委員長	
			郷 晃輔	邦楽専門委員長	
	保坂 博司	美術専門委員長	河野 通方	演劇専門委員長	
	大橋 洋之	書道専門委員長	成澤 千香子	洋舞専門委員長	
	守屋 喜彦	写真専門委員長	福嶋 孝顕	民謡民舞専門委員長	
	稲葉 一溪	華道専門委員長	横森 美保	朗読専門委員長	
	奥山 幾代子	フラワーデザイン専門委員長	深澤 壽	太鼓専門委員長	
	進藤 恵	ハンドクラフト専門委員長	木之瀬 星謙	吟剣詩舞専門委員長	
			仲田 太年	吹奏楽専門委員長	

やまなし県民文化祭運営委員会規約

(趣旨)

第1条 この規約は、やまなし県民文化祭実行委員会規約第16条の規定により設置する運営委員会(以下「運営委員会」という。)の運営に関して、必要な事項を定めるものとする。

(構成)

第2条 運営委員会は、やまなし県民文化祭実行委員会会長が委嘱した委員(以下「運営委員」という。)をもって充てる。

2 運営委員会は、総合フェスティバル、部門別フェスティバルにそれぞれ設けるものとする。

(役員)

第3条 運営委員会には、次の役員を置く。

- (1)委員長1名
- (2)副委員長1名
- 2 委員長及び副委員長は、県民文化祭実行委員会会長が指名する者をもって充てる。
- 3 委員長は、所掌事務を統括する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。

(所掌事務)

第4条 運営委員会は、次に掲げる事項を協議し、決定する。

- (1)実施計画の策定に関する事項
- (2)企画・演出に関する事項
- (3)会場計画に関する事項
- (4)その他事業の実施・運営に関する事項

(任期)

第5条 運営委員の任期は1年とし、後任者が決定されるまで在任する。但し、再任は妨げない。

(開催)

第6条 運営委員会は、必要に応じて委員長が招集し、運営委員会の議長は委員長がこれにあたる。

(事務局)

第7条 運営委員会の事務局は、甲府市丸の内1-6-1山梨県観光文化振興・文化財課内に置く。

附 則

- 1 この規約は、平成12年11月1日から施行する。
- 2 この規約は、平成18年11月1日から施行する。
- 3 この規約は、平成22年5月11日から施行する。
- 4 この規約は、平成28年4月1日から施行する。
- 5 この規約は、令和2年4月1日から施行する。

やまなし県民文化祭実行委員会事務局

山梨県 観光文化部 文化振興・文化財課 文化芸術振興担当内

第21回やまなし県民文化祭部門別フェスティバル 専門委員

文学

宮澤 賢治
石黒 佐近
小池 映二
犬飼 和雄
水木 亮
入倉 文子
八木 春夫

井上 康明
安藤 一宏
雨宮 慶子
三枝 浩樹
古屋 正作
河野 小百合
白倉 一民

保坂 敏子
長田 群青
宮下 時雨
玉島 よ志子
井上 信太郎
木村 源子
浅川 のぼる

音楽

小石 晋
今津 初美
神宮寺 淑子
長田 美歩
金森 静子

藤巻 信哉
鈴木 博雅
田川 智美
竹原 久美子
野口 麻美

池山 洋子
古屋 真木子
宮川 忠生

茶道

鶴田 宗慶
安井 窓源

鈴木 仙陽
市川 宗陽

篠原 宗綾

合唱

渡邊 玲子
渡辺 公男
足達 勝子
落合 節子

渡邊 重敏
中 源博
落合 美紀
青木 やす子

中村 秀樹
依田 貴司

美術

保坂 博司
手塚 義彦
浅川 徹
安藤 峯子
榎並 和春
加島 查
小林 宏
五味 泰平
齊藤 武士
坂本 一行
須田 クニオ

中野 宗夫
鈴木 博美
早川 二三郎
中村 修二
藤原 満代
古屋 真知子
堀内 洋子
増田 実
三浦 昌秀
三井 正人
向山 富士雄

山本 承功
吉田 光雄
渡辺 勝俊
赤池 宏己
石田 泰道
井上 ひろ美
雨宮 弥太郎
井上 香代子
金井 幸則
雨宮 千鶴
内海 仁美

邦楽

郷 晃輔
雨宮 洋子
岡安 喜和
田中 かほる
村田 如仙
雨宮 三四子

中田 一勢
岡安 喜千萩
貴音 美美和
根津 讚声
鈴木 逸明
小林 珠澄勢

中村 麗声
岡安 喜千智
岡安 喜和広
小沢 逸豪
鈴木 博延昭

書道

大橋 洋之
花田 龍溪
矢崎 美咲
笠井 魚山
田中 志津
宮田 香彩

伊藤 緑山
天野 白汀
赤池 幽水
上野 卿堂
杉本 蕙香
樋川 朝風

雨宮 春聲
武井 由苑
安部 光泉
上野 緑苑
市川 擁舟

演劇

河野 通方

洋舞

成澤 千香子
中村 元子

深沢 由美
三井 環

民謡民舞

福嶋 孝顕
扇寿 希洋友
矢野 和子
井上 さかえ

保坂 とみ子
中澤 緑
萩田 久子
小林 敏子

飯野 妙子
藤田 淳三
青柳 眞佐美
藤本 純秀

写真

守屋 喜彦
磯部 寛
内藤 進
松村 央男
高橋 峰雄
安達 栄子
森 雅愛

村松 貞夫
志村 茂雄
村松 義輝
岩間 文洋
小林 守雄
名取 高德
雨宮 正英

岩間 光明
山本 賢治
早川 和枝
丹澤 恒夫
菊池 榮

朗読

横森 美保
永田 京子
渡邊 さゆり

輿水 万里
猪狩 紀美子
小澤 篤子

山形 敏貴
清水 美智子
中山 幸子

フラワーデザイン

奥山 幾代子
岡部 信弥

安達 良枝
小田切 美奈子

中込 まき

太鼓

深澤 壽
輿水 孝文
伊藤 貴
北原 久

石川 勉
市瀬 祐一
中込 晴美
飛田 邦秀

山口 琳平
飯野 多恵子
渡辺 正志
石川 将也

ハンドクラフト

進藤 恵
窪澤 三和
大久保 明美
保坂 初美

小島 照美
平出 芳恵
横内 正史
三枝 ひとみ

林 由美
折原 精二

吟剣詩舞

木之瀬 星謹
天野 岳庵
山縣 静博
萩田 飛翔
木之瀬 星篤
風間 岳勲

小松 獅劍
遠藤 翠香
秋山 徳美
齋藤 錦鶴
小松 獅優

三千宗 美千啓
山本 嘉悠
深沢 翠治
三千宗 美千枝
中村 岳正

華道

稲葉 一溪
小俣 理典
鶴田 一杏
高山 一能
深澤 一黄
内藤 楽松

鮎澤 昇雲
砂田 鵬華
興石 一宏
納富 聖華
名取 春雲
有泉 一金

山口 飛水
飯島 日光
吉岡 幸曳
島田 一源

吹奏楽

仲田 太年
玉島 博一
北畑 貴美

田中 誠
秋山 尚克
矢崎 琢

秋山 菜穂
竹川 美和
小佐野 拓

第21回やまなし県民文化祭記録集

発行 令和5年3月

編集・発行

やまなし県民文化祭実行委員会

〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1

山梨県観光文化部 文化振興・文化財課内

TEL 055 (223) 1797

FAX 055 (223) 1793

E-mail bunka@pref.yamanashi.lg.jp

印刷 株式会社 島田プロセス